

- 問1 中国大陸や朝鮮半島から九州北部へ伝わった稲作が東日本へと広まった時代、収穫を祈る祭りが重要視されるようになりました。この時代に祭りの道具として作られた、つりがねのような形をした青銅器を何と呼びますか。 (2023年 長野県公立入試 類似)
1. 埴輪 2. 打製石器 3. 銅鐸 4. 縄文土器
- 問2 兵庫県神戸市の桜ヶ丘町などで出土した、釣り鐘のような独特の形をした弥生時代の青銅器について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、この青銅器の表面には、当時の生活の様子や幾何学的な文様が描かれていることがあります。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
1. 古墳の副葬品として納められた、馬に装着する鉄製の装具である 2. 狩猟や農耕の様子が描かれた、祭祀に用いられた銅鐸である 3. 魏の皇帝から邪馬台国の女王に贈られたとされる銅鏡である 4. 縄文時代の集落で見つかる、魔除けのために作られた土偶である
- 問3 弥生時代の高床(式)倉庫において、柱と床が接する部分に「ネズミ返し」と呼ばれる板状の部材が取り付けられた理由として、当時の社会背景を踏まえた説明はどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
1. 大陸から新たな建築技術が伝来し、建物の耐震性を高めて大規模な集落の崩壊を防ぐ必要があったから。 2. 集落間の争いが激しくなったため、床下に敵が潜り込んで火を放つことを防ぐ防壁が必要だったから。 3. 定住生活が始まったことで、家畜として飼育し始めた動物が建物内に入り込むのを防ぐ必要があったから。 4. 稲作の開始によって収穫した食料を蓄えるようになったため、その貯蔵分を害獣から保護する必要があったから。
- 問4 1世紀頃の東アジアにおいて、中国の皇帝が周辺国の支配者に対して「みつぎ物」の見返りとして「称号」や「印」などを与える国際秩序がありました。倭の王が中国へ使いを送った歴史的背景や目的として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. 朝鮮半島北部の小国として、中国の強力な武力による直接支配から逃れるための許可を求めた。 2. 中国と対等な立場で外交関係を築き、軍事的な同盟を結ぶことで領土を拡大しようとした。 3. 中国の皇帝に臣下として認められることで、自らの支配者としての地位を国内や周辺に示そうとした。 4. 仏教などの新しい宗教を中国から正式に導入し、国を治めるための思想として活用しようとした。
- 問5 長崎県壱岐市の「原の辻遺跡」は、大規模な環濠集落を特徴とし、中国の歴史書に登場する「一支国(いきこく)」の王都とされています。この一支国も含まれる当時の倭国の様子や、女王卑弥呼が中国へ使者を送った出来事について詳しく記されている書物はどれですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
1. 『後漢書』東夷伝 2. 『漢書』地理志 3. 『魏志』倭人伝 4. 『宋書』倭国伝
- 問6 弥生時代の遺跡からは、青銅器と鉄器という二種類の金属器が発見されています。鉄器が農具の刃先として普及したことが、当時の社会に与えた影響として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
1. 農具が重くなったことで、小規模な家族単位での農業が不可能になった。 2. 青銅器よりも希少価値が高かったため、王の権威を示すための宝物としてのみ扱われた。 3. 石器に比べて加工が簡単だったため、各家庭で容易に自給できるようになった。 4. 土地の開墾や耕作が容易になり、食料である米の生産力が向上した。
- 問7 弥生時代には青銅器と鉄器がほぼ同時に日本列島へ伝わりました。それぞれの金属器が果たした役割の違いについて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 青銅器は加工のしやすさを活かして農具や工具として普及し、鉄器は主に祭りの道具として使われた 2. 鉄器は定期市での取引を円滑にするために使われ、青銅器はイスラム教の礼拝の道具として使われた 3. 青銅器は前方後円墳に埋葬するための副葬品として作られ、鉄器は神社の建築のために使われた 4. 鉄器は鋭さや硬さを活かして農具や武器などの実用に供され、青銅器は主に祭りの道具として使われた
- 問8 弥生時代に大陸から伝わった青銅器の一つで、釣鐘(つりがね)のような独特の形をしており、主に近畿地方を中心に発見されている、農耕の祭祀(さいし)に使われたと考えられている道具の名称として適切なものを次の中から選びなさい。 (2020年 山口県公立入試 類似)
1. 銅鏡 2. 銅矛 3. 銅鐸 4. 銅剣
- 問9 佐賀県の吉野ヶ里遺跡などの埴丘墓から出土する「細形銅剣」をはじめとした青銅器の性格について述べた文として、歴史的な事実と合致するものはどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
1. 調理や食事を円滑に進めるために開発された、一般庶民の日常生活用具であった 2. 富や権力を象徴し、村々のまとまりを強めるための儀式や祭りに用いられた 3. 鉄器に比べて硬度が高かったため、土木工事の道具として普及した 4. 弥生時代を通じて、一貫して実戦での殺傷能力を追求した武器であった
- 問10 1世紀半ば、奴国の王が中国の王朝(漢)に使者を送り、金印を授けられたという出来事について、その当時の国際関係のあり方や目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 山口県公立入試 類似)
1. 朝鮮半島での軍事的な優位を確保するため、中国の王朝と軍事同盟を結び、援軍を派遣してもらう約束を取り付けた 2. 仏教を日本に広めるため、優れた経典や仏像を日本へ持ち帰る許可を皇帝に求める使節を派遣した 3. 対等な立場での外交を求める国書を送り、大陸の進んだ律令制度を日本へ速やかに導入することを目的とした 4. 中国の皇帝に朝貢してその支配下に入ることで、自身の王としての地位を認めさせ、国内での権威を高めようとした
- 問11 3世紀の日本の様子が記された中国の史書『三国志』の「魏志」倭人伝において、約30の国々をまとめ、中国の魏に使いを送ったとされる邪馬台国の女王は誰ですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 持統天皇 2. 卑弥呼 3. 推古天皇 4. 北条政子
- 問12 古代の日中関係をまとめた学習レポートにおいて、5世紀のヤマト王権による外交について記述する場合、その内容として正しいものはどれですか。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)
1. 「倭の五王」と呼ばれる王たちが、中国の南朝に使節を派遣し、朝鮮半島での軍事的指揮権や自らの地位を認めさせようとした。 2. 邪馬台国の卑弥呼が中国の魏に使節を派遣し、「親魏倭王」の称号とともに金印を授かり、国内の小国連合の統制を強めた。 3. 小野妹子が遣隋使として中国の隋へ派遣され、対等な立場での外交を求める国書を提出して、新しい官制や憲法を導入しようとした。 4. 奴国の王が中国の後漢へ使節を派遣し、光武帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かって、北九州での地位を確立した。
- 問13 邪馬台国の女王が中国の魏の皇帝に使者を送った際、皇帝から授けられたとされる称号と、その証として贈られた品物の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 「漢委奴国王」の称号と、志賀島で発見された金印 2. 「親魏倭王」の称号と、金印や銅鏡 3. 「倭王」の称号と、百済から贈られた七支刀 4. 「日本国王」の称号と、明との貿易に用いられた勘合符